



# 営農タイムリー！



## 発生予察情報について(4月)

2022年4月11日発行

### 病害虫発生予報第2号(4月)

京都府病害虫防除所より、4月の予察情報が発表されました。

#### 病害虫発生予察第2号(4月) (抜粋)

作物名	病害虫名	予想発生量 〈平年比(前年比)〉
カキ	カキクダアザミウマ	<u>やや多</u>
キャベツ	菌核病	<u>やや多</u> (やや多)
アブラナ科野菜	コナガ アブラムシ類	<u>多</u> (やや多) 並 (多)

# 果 樹

## 1. カ キ カキクダアザミウマ

予報内容 発生量 : 平年比やや多い

### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 主に年1回発生。カキや付近のマツ、スギ、ヒノキ、クヌギなどの樹皮の粗皮の隙間で、成虫で越冬する。
- (2) 4月下旬頃に越冬場所から新芽に移って、展開後2～3日以内の新葉に寄生する。
- (3) 4月中下旬頃から新葉をよく観察し、新葉が出始めた日から1週間以内に防除を行う。

## カキクダアザミウマ

形 態 : 成虫は体長2.2mm前後、黒色。卵は円筒形、乳白色。幼虫は成長すると体長1.8mm前後、黒色、他のアザミウマに比べやや大型である。

防除の  
ポイント :

- カキクダアザミウマでは産卵開始期間(4月下旬～5月上旬)が重要な防除時期である。



葉被害



果実被害



卵



果実被害、幼虫



1 齡幼虫



2 齡蛹



成虫

かき アザミウマ類・カキクダアザミウマ 登録薬剤

IRAC コード	薬剤名	適用害虫	希釈倍数 / 使用薬量	使用時期 / 使用方法	本剤の 使用回数
1A	<b>オリオン水和剤40</b>	<b>アザミウマ類</b> イラガ類:カイガラムシ類:カキノヘタムシガ:ケムシ類:ハ スモンヨトウ:ハマキムシ類 他	1000倍	収穫21日前まで	1回
1B	 <b>ジエイエース</b> 水溶剤	<b>カキクダアザミウマ</b> カキノヘタムシガ:チャノキイロアザミウマ	1500倍	収穫45日前まで	2回以内
	 <b>オルトラン</b> 水和剤	<b>カキクダアザミウマ</b> カキノヘタムシガ:チャノキイロアザミウマ:フジコナカイガラ ムシ	1500倍	収穫45日前まで	2回以内
	 <b>ススラサイド</b> 水和剤	<b>カキクダアザミウマ</b> カイガラムシ類:カキノヒメヨコバイ:カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	1500倍 1000倍	収穫30日前まで	3回以内
2B	 <b>キラップ</b> フロアブル	<b>アザミウマ類</b> :カメムシ類	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
3A	 <b>MR.ジョーカー</b> 水和剤	<b>カキクダアザミウマ</b> カキノヘタムシガ:カメムシ類:チャノキイロアザミウマ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	<b>アークリン水和剤</b>	<b>カキクダアザミウマ</b> カメムシ類:チャノキイロアザミウマ:ハマキムシ類 カキノヘタムシガ:チャミノガ	1000倍 1000~2000倍	収穫30日前まで	3回以内
	 <b>アグロスリン</b> 水和剤	<b>アザミウマ類</b> :カキノヘタムシガ:カメムシ類	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
	 <b>スカウト</b> フロアブル	<b>アザミウマ類</b> カキノヘタムシガ カメムシ類	2000倍 1500~2000倍 1500倍	収穫7日前まで	5回以内
4A	 <b>アクタラ</b> 顆粒水溶剤	<b>アザミウマ類</b> カキノヘタムシガ:カメムシ類:コナカイガラムシ類	2000倍	収穫3日前まで	3回以内
	 <b>スタークル</b> 顆粒水溶剤	<b>アザミウマ類</b> カキノヘタムシガ:カメムシ類:コナカイガラムシ類	2000倍	収穫前日まで	3回以内
		コナカイガラムシ類	20~40g/樹 発芽前~発芽期 / 本剤1gあたり水1mlの割合で混合 し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥い だ部分に塗布する。		1回
 <b>モスピラン</b> 顆粒水溶剤	<b>アザミウマ類</b> カイガラムシ類:カキノヒメヨコバイ:カキノヘタムシガ:カメム シ類	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	
5	 <b>ディアナ</b> WDG	<b>アザミウマ類</b> カキノヘタムシガ:ハマキムシ類	5000~10000 倍	収穫前日まで	2回以内
13	 <b>コテツ</b> フロアブル	<b>アザミウマ類</b> イラガ類:カキサビダニ:カキノヘタムシガ	2000~4000倍	収穫14日前まで	2回以内
		カンザワハダニ:ナミハダニ	2000倍		
23	 <b>モベントX</b> フロアブル	<b>アザミウマ類</b> カイガラムシ類	2000倍	収穫7日前まで	3回以内
28	 <b>テッパン</b>	<b>アザミウマ類</b> カメムシ類:ハマキムシ類:ヒメコスカシバ:イラガ類:カキノ ヘタムシガ	2000倍	収穫前日まで	2回以内
28 4A	 <b>キックオフ</b> 顆粒水和剤 [プレハソン+スタークル]	<b>アザミウマ類</b> ケムシ類:カキノヘタムシガ:カメムシ類:コナカイガラムシ 類	2000倍	収穫前日まで	3回以内

# 野菜

## 1. キャベツ 菌核病

予報内容 発生量 : 平年比 やや多い (前年比 やや多い)

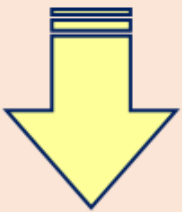
### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 春に発生が多く、適温は20℃前後、曇天雨が続く時に発生しやすい。
- (2) 発生終期に形成された菌核は土中に落ち、次作以降の伝染源となる。菌核は土壌中で2~3年間生存可能である。
- (3) 発病株は菌核を形成する前に抜き取り、土中に深く埋めるなど処分する。



### ■ 菌核病の防除体系 例

発病前は



発病が認められたら

M07(M)

**ベルクート** 水和剤 [ 1000倍 収穫14日前まで/3回以内 ]

**ベルクート** フロアブル [ 1000倍 収穫28日前まで/3回以内 ]

予防剤を ローテーション 散布

12(E2) **セイビアー**  
フロアブル20  
[ 1000倍 収穫3日前まで/3回以内 ]

11(C3)  
7(C2) **シグナムWDG**  
〔カンタス+カルビオ〕  
[ 1500倍 収穫7日前まで/2回以内 ]

11(C3)  
**ファンタジスタ** 顆粒水和剤 [ 2000~3000倍 収穫3日前まで/3回以内 ]  
**アミスター20** フロアブル [ 2000倍 収穫7日前まで/4回以内 ]

治療剤を加えた ローテーション 散布

2(E3) **ロブラール** 水和剤  
[ 1000倍 収穫前日まで/7回以内 ]

7(C2)  
**パレード20** フロアブル [ 2000~4000倍 収穫前日まで/3回以内 ]  
**アフェット** フロアブル [ 2000倍 収穫前日まで/3回以内 ]

# 野菜

## 2. アブラナ科野菜 コナガ

予報内容 発生量 : **平年比 多い (前年比 やや多い)**

### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 高温、乾燥が続くと発生が多くなりやすく、雨が多いと発生が抑制される傾向がある。
- (2) 防虫ネット等を利用し、物理的防除に努める。

**形態** : 成虫は体長6mm内外、翅の開張12~16mmで褐色、雄は白色の鋸歯状の斑紋がある。卵は楕円形で0.5mm、淡黄色である。幼虫は鮮緑色で成長すると体長10mm内外、手を触れると糸を吐いて地上におりる。和名のコナガは「小菜蛾」に由来する。

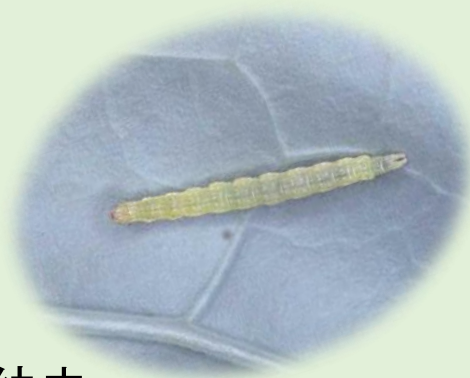
**生態と被害** : 成長が早く、年間発生回数が多い。寒地では年5回の発生であるが、暖地では13回に及ぶ。越冬は一般に蛹で行われるが、西南暖地では各ステージのものが見られ、冬期も成長を続ける。5~6月と秋に多いが、冷涼地では夏にも多発する。幼虫は葉の表皮を残し、葉緑層を食害するので生育が遅れ、多発すると畑全体が白く見える。また、幼苗などは芯葉を食害され、いわゆる芯止まりとなってキャベツなどは結球できなくなる。

### 防除の

- ポイント** : ● 薬剤抵抗性の事例が多いので、各種薬剤をローテーションで用いる。  
● 春、秋に発生が多いので、この時期を重点に防除する。



老齡幼虫



成虫



# ■ キャベツ コナガ の防除体系 例

育苗期に

定植時に

1B

**ジイエース** 殺虫剤 粒剤

[ 3~6kg/10a (1~2g/株)  
定植時 / 植穴処理 / 1回 ]

28

**ベシマークSC**

[ 400倍 / セル成型育苗トレイ1箱または  
ペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用  
土壌 約1.5~4L) あたり0.5L  
/ 育苗期後半~定植当日 / 灌注 ]

OR

28

**フリロツン** 殺虫剤 オメガ

[ 1g/株 育苗期後半~定植時 / 株元散布 / 1回 ]

4A  
28

**ミネクトデュオ**

[フリロツン+アクタラ] 殺虫剤 粒剤

[ 1g/株定植時 / 株元散布 / 1回 ]

発生が認められたら

30

**グレースィア** 殺虫剤 乳剤

[ 2000~3000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内 ]

**プロフレアSC** [ 2000~4000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

1B

**ジイエース** 殺虫剤 水溶剤

[ 1000~1500倍  
/ 収穫30日前まで / 1回以内 ]

4A

**ダントツ** 殺虫剤 水溶剤

[ 2000倍 / 収穫3日前まで / 2回以内 ]

**モスピラン** 殺虫剤 顆粒水溶剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫7日前まで / 5回以内 ]

UN

**フレオフロアブル**

[ 1000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内 ]

**ローテーション散布**

5

**テリアナSC**

[ 2500~5000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

34

**ファインセーブ**  
フロアブル

[ 1000~2000倍  
/ 収穫3日前まで / 2回以内 ]

6

**アキ** 殺虫剤 乳剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫3日前まで / 3回以内 ]

**アフーム** 殺虫剤 乳剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

28

**ベネビアOD**

[ 2000~4000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

**ヨーバル** フロアブル

[ 2500~5000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

21A

F:39(C1)

**ハチハチ** 殺虫剤 乳剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫14日前まで / 2回以内 ]

13

**コテツ** フロアブル

[ 2000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

23

**モベント** フロアブル

[ 2000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内 ]

14

**パダンSG** 殺虫剤 水溶剤

[ 1500倍 / 収穫14日前まで / 4回以内 ]

### 3. アブラナ科野菜      アブラムシ類

予報内容      発生量   :  平年並 (前年比 多い)

#### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 通常、無翅虫で集団加害するが、密度が高まると有翅虫が現れて分散し、発生が拡大する。
- (2) 高温、乾燥が続くと発生が多くなる。
- (3) 野菜等をは種又は定植する際には、シルバーフィルムやムシコン等のマルチを被覆するか、シルバーテープを張り、有翅虫の飛来を防止する。また、早期発見によりアブラムシ類の防除に努める。

#### アブラムシ類

アブラナ科野菜には主に3種のアブラムシが寄生するが、ダイコン、ハクサイにはニセダイコンアブラムシとモモアカアブラムシ、キャベツ、ナタネにはダイコンアブラムシが多い。吸汁による直接害の他、各種ウイルス病を媒介する。

#### モモアカアブラムシ

**特 徴** : 移住型のアブラムシで夏寄主はアブラナ科野菜の他ナス、トマト、ピーマン、タバコ、ハウレンソウなど多くの作物が知られている。冬寄主はモモ、スモモで卵態で越冬する。しかし、関東以南の暖地では、野外のアブラナ科野菜、雑草に胎生で越冬しているのも多く見られる。発生は4月上中旬から、5月中下旬がピークとなり、6月下旬には少なくなる。9月中下旬から11月上旬にかけて再び多くなるが、春世代に比べ一般に少ない。胎生雌には淡緑色～淡黄色、および淡赤色の2系統があり、冬期には淡赤色が多い。

#### ダイコンアブラムシ

**特 徴** : アブラナ科作物のみに寄生し、特にキャベツ、カリフラワー、コモチカンラン、ナタネに多い。成・幼虫とも白色状の分泌物を体表に付着し、寄生する場合コロニーを作る。本種は低温に適しているようで、4月中～下旬から多くなり、梅雨期までに急激に増殖するが、夏・秋には少ない。

#### ニセダイコンアブラムシ

**特 徴** : ダイコン、ハクサイに多く、体は黄緑色でうすい白粉を体背におびている。発生は夏播・秋播に多く、秋期に高温がつづく就多発する。



モモアカアブラムシ



ニセダイコンアブラムシ



# ■ キャベツ アブラムシ類 の防除体系 例

育苗期に

定植時に

1B

**ジイエース** 粒剤

[ 3~6kg/10a (1~2g/株)  
定植時 / 植穴処理/1回 ]

28

**ベシマークSC**

[ 400倍 / セル成型育苗トレイ1箱または  
ペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用  
土壌 約1.5~4L) あたり0.5L  
/ 育苗期後半~定植当日 / 灌注 ]

OR

28

**プリロツソ** 粒剤 **オメガ**

[ 2g/株 育苗期後半~定植時/株元散布 / 1回 ]

4A

28

**ミネクトデュオ**

[プリロツソ+アクトラ] 粒剤

[ 1g/株 定植時 / 株元散布 / 1回 ]

発生が認められたら

29

**ウララ** DF

[ 2000~3000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

4A

**ダントツ** 水溶剤

[ 2000~4000倍  
/ 収穫3日前まで / 2回以内 ]

21A  
F:39(C1)

**ハチハチ** 乳剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫14日前まで / 2回以内 ]

**モスピラン**  
顆粒水溶剤

[ 2000~4000倍  
/ 収穫7日前まで / 5回以内 ]

**スターフル**  
顆粒水溶剤

[ 2000~3000倍  
/ 収穫7日前まで / 2回以内 ]

**ローテーション散布**

28

**ベネビアOD**

[ 2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

**ヨーバル** フロアブル

[ 2500~5000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

4C

**トランスフォーム** フロアブル

[ 2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

9B

**コルト** 顆粒水和剤

[ 3000~4000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

23

**モベント** フロアブル

[ 2000~4000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内 ]

14

**パダン** SG水溶剤

[ 1500倍 / 収穫14日前まで / 4回以内 ]



# ■ キャベツ コナガ の防除体系 例

育苗期に

定植時に

28 **ベシマークSC**

[ 400倍 / セル成型育苗トレイ1箱または  
ペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用  
土壌 約1.5~4L) あたり0.5L  
/ 育苗期後半~定植当日 / 灌注 ]

28 **プリロツソ 粒剤 オメガ**

[ 1g/株 育苗期後半~定植時/株元散布 / 1回 ]

1B **ジエース 粒剤**

[ 3~6kg/10a (1~2g/株)  
定植時 / 植穴処理 / 1回 ]

発生が認められたら

30 **グレースィア 乳剤**

[ 2000~3000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内 ]

**プロフレアSC** [ 2000~4000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

1B **ジエース 水溶剤**

[ 1000~1500倍  
/ 収穫30日前まで / 1回以内 ]

4A **ダントツ 水溶剤**

[ 2000倍 / 収穫3日前まで / 2回以内 ]

**モスピラン** 顆粒水溶剤

[ 1000~2000倍  
/ 収穫7日前まで / 5回以内 ]

UN **プレオフロアブル**

[ 1000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内 ]

**ローテーション散布**

34 **ファインセーブ  
フロアブル**

[ 1000~2000倍  
/ 収穫3日前まで / 2回以内 ]

21A **ハチハチ 乳剤**  
F:39(C1)

[ 1000~2000倍  
/ 収穫14日前まで / 2回以内 ]

5 **ディアナsc**  
[ 2500~5000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

28 **ベネビアOD**

[ 2000~4000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

**ヨーバル** フロアブル

[ 2500~5000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

23 **モベント** フロアブル

[ 2000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内 ]

14 **パダンSG** 水溶剤

[ 1500倍 / 収穫14日前まで / 4回以内 ]

6 **アキ** 乳剤 [ 1000~2000倍  
/ 収穫3日前まで / 3回以内 ]  
**アフーム** 乳剤 [ 1000~2000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

13 **コテツ** フロアブル

[ 2000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

# ■ キャベツ アブラムシ類 の防除体系 例

育苗期に

定植時に

28 **ベシマークSC**

[ 400倍 / セル成型育苗トレイ1箱または  
ペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用  
土壌 約1.5~4L) あたり0.5L  
/ 育苗期後半~定植当日 / 灌注 ]

28 **プリロツソ 粒剤 オメガ**

[ 2g/株 育苗期後半~定植時/株元散布 / 1回 ]

1B **ジエース 粒剤**

[ 3~6kg/10a (1~2g/株)  
定植時 / 植穴処理 / 1回 ]

発生が認められたら

29 **クララDF**

[ 2000~3000倍  
/ 収穫前日まで / 2回以内 ]

21A **ハチハチ 乳剤**  
F:39(C1)

[ 1000~2000倍  
/ 収穫14日前まで / 2回以内 ]

**ローテーション散布**

4A **ダントツ** 水溶剤 [ 2000~4000倍  
/ 収穫3日前まで / 2回以内 ]

**モスピラン** 顆粒水溶剤 [ 2000~4000倍  
/ 収穫7日前まで / 5回以内 ]

**スターフル** 顆粒水溶剤 [ 2000~3000倍  
/ 収穫7日前まで / 2回以内 ]

28 **ベネビアOD**

[ 2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

**ヨーバル** フロアブル

[ 2500~5000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]

23 **モベント** フロアブル

[ 2000~4000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内 ]

14 **パダンSG** 水溶剤

[ 1500倍 / 収穫14日前まで / 4回以内 ]

4C **トランスフォーム** フロアブル

[ 2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内 ]

9B **コルト** 顆粒水和剤

[ 3000~4000倍  
/ 収穫前日まで / 3回以内 ]